

NEWS 未来に まっすぐ いけぶち 佐知子 通信

2018No.1

(通巻 115)

2018/6

吹田市千里山西

5-2-5 7社ビル

06-4861-7418

新会派結成 しました

5月22日、いけぶち佐知子は、会派「すいた市民自治」を解散し、一人会派の議員4人で新会派「**市民と歩む議員の会**」を結成しました。

市民と歩む議員の会

つぎの議員4人が所属しています。(50音順)
カッコ内は元の会派名と議員としての期数です。

池淵佐知子

(すいた市民自治・5期)

五十川有香

(吹田いきいき市民ネットワーク・1期)

梶川文代

(吹田市民クラブ・5期)

馬場慶次郎

(すいた創政会・1期)

結成の趣旨・経過

(1) **なぜ、会派を作ったのか**
議員任期も残すところ1年弱となりました。これまで、4人はそれぞれ1会派を作り、各々議員活動を行ってまいりました。しかし、**議会の運営については、議会運営委員会(以下、「議運」という)で決まっていき、その委員には、3人以上の会派(交渉団体)でなければ、委員を出すことができません。**また、議会運営というのは、本会議そのものの運営だけでなく、例えば、裏面に書きましたように特別委員会の名称を変えることについても、議運で話し合います。一人会派の私たちの意見を聞いてもらえるのは、議員全体に直接かかわる時ぐらいのことと、それも意見を聞いてもら

えるだけで、最終は議運で話し合って決まります。

一人一人の議員は同じように選挙で選ばれ、選挙の得票数の差はあっても、当選すれば議員として同じです。

そこで一人会派の議員ではなく、3人以上の交渉団体になる会派を結成しようと考えました。それぞれ応援・ご支援いただいている方もいらっしゃるので、決定するには時間がかかります。新会派名が決まったのが21日のお昼、議長への届け出が22日でした。メンバーや名称が確定するまで皆様に事前にお知らせすることができず、本当に申し訳ありませんでした。

(2) **これまでどう違うのか**

いけぶちだけでなく、他の3人の議員も、**これまでの政治信条も政治姿勢も特に変わりません。**もとより、「市民のための政治」「市民のための政策実現」は共通の思いです。子育てのこと、環境のこと、高齢者や障がい者のこと、まちづくりのこと、などなど、多くの点で共通するところがあります。

議会質問では、共通することを代表質問の形で行います。**議決の賛否は、協議して決めますが、私たちは一つの政党ではないので、「党議拘束」という言葉は、あてはまりません。**どうしても折り合えず、**賛否が分かれることもありますが、真摯に議論した結果のことであれば、何ら問題ないと思っています。**



(写真右から、馬場議員、五十川議員、私(いけぶち)、梶川議員)

(3) 「市民と歩む議員の会」

一人会派が単に集まった、交渉団体になるためだけの「烏合の衆」のように揶揄されることもあります。逆に、それぞれが考え、情報を共有し、協議し、行動する、そういう政策グループに近いと思います。

各々の得意分野を生かし、また情報交換、情報共有、そして、議論を重ね、一人ではできなかったことも4人ならできる、市民のための政治実現に向かってパワフルに進んでまいります。今後とも応援、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

やむを得ず、会派をつくる決断

(1) 特別委員会の名称変更

「中核市移行に関する調査特別委員会」の名称と設置目的を変更する議案が、議会運営委員会から「調査」という言葉を削除し、「中核市移行特別委員会」に変えたいという議案です。

その意図は、もう調査する段階は終わった、ということのようです。

しかし、議会に中核市移行の申出議案が提案され、議会の意思が決定するのは来年2月定例会の予定です。

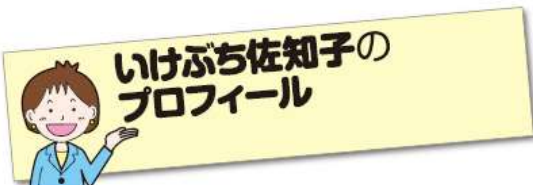
それまでは、まだまだ調査も検討もしなければならぬので、「市民と歩む議員の会」は、名称変更する理由はなく、元の名称でよいと考えていました。提案議案に対して質疑をし、その答弁によっては討論で意見を述べて賛成することを考えました。しかし、3回まで質問をして、特別委員会の名称を変える必要があるという納得のいく理由はなく、これでは、賛成できません。



本来、賛成、反対にかかわらず、理由をもって意思表示をするべきで、退席するのはある意味「卑怯」です。しかし、私たちが反対しても賛成多数で可決するだろう、という現実があります。そして、可決すれば、否が応でも変更後の特別委員会に会派から委員を出すこととなります。

以上のことから、質疑の中で、特別委員会の名称に変更したとしても、「議論に制約を加えるものではなく」「移行時期の変更、移行そのものの見直し」という議論を排除するものではない」という答弁を得ましたので、反対はせず、討論の時に意見を述べて、退席しました。

2017年いけぶち佐知子議員会計報告	
<収入>	
議員報酬	11,193,000
前期より繰越	220,578
収入計	11,413,578
<支出>	
事務所2F家賃	600,000
事務雑費	39,573
交通費	239,518
通信費	195,940
活動費	562,954
応援団(1F家賃含む)	972,000
税金	1,712,775
共済・互助会	1,478,000
国保	890,000
生活費	4,062,500
次期へ繰越	660,318
支出計	11,413,578



- 1957年/和歌山県生まれ。
- 1979年/大阪大学薬学部卒業。薬剤師免許取得。
- 1994年/吹田市立女性センターに就職。地域の開発問題をきっかけに政治に関心を持つ。
- 1999年/市民のための市政を求めて立候補し、当選。
- 2015年/市議会議員5期目スタート。現在に至る。子育て・教育、福祉、環境、まちづくりの市民活動にかかわる。百条委員会委員(2012~13年度)。吹田市監査委員(2013年度)。議会事務局研究会会員。「女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ。

いけぶち佐知子事務所
吹田市千里山西5-2-5

平日 10時~15時 OPEN